

2021年 月 日

山形県コホート研究および高畠コホート研究に参加されたことがある方々へ
(臨床研究に関する情報)

当施設では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、健康診断で得られた過去の記録や試料を用いて行います。このような研究は、文部科学省、厚生労働省が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月策定、2015年4月施行、2017年3月一部改正）」の規定により、対象となる方お一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、

「⑤ お問い合わせ先」へご照会ください。

研究名：オキシトシン受容体多型と笑う頻度および予後との関係：山形県コホート研究
研究実施期間：2021年 月 日 ～ 2024年 3月 31日

山形大学医学部倫理審査委員会承認番号：2022-26号（承認日 2022年 4月 27日）

① 対象となる方々（研究の目的、試料・情報の利用目的及び利用方法）

これまでの山形県コホート研究の結果から、笑う頻度が高いほど死亡リスクが低いことが明らかにされました。しかし笑いがどのような機序で健康に寄与するのかは不明です。本研究では、幸せホルモンと言われるオキシトシンに着目し、笑いがオキシトシンを介して死亡リスクを低下させているという仮説を立てこれを明らかにすることを目的としました。本研究の対象者は2006年1月から2019年12月31日までに山形県コホート研究に参加された方々と2004年1月から2006年12月31日までに高畠コホートに参加された方々です。その方々のデータ（年齢、性別、食事生活習慣、日常生活情報、血液尿検査、疾患の罹患歴、死亡情報、笑う頻度、オキシトシン受容体遺伝子多型など）を使用して、オキシトシン受容体遺伝子多型が、心血管疾患やがんの発生や死亡と関連するかを明らかにします。研究は当施設単独で行われ、データは完全に匿名されるため、個人名や個人情報が明らかになることは一切ありません。解析結果は学会や医学論文として、国内外に発表されます。

② 利用する試料・情報

山形県コホート研究および高島コホート研究に参加された方々のデータ（年齢、性別、食事生活習慣、日常生活情報、血液尿検査、疾患の罹患歴、死亡情報、笑う頻度、オキシトシン受容体遺伝子多型など）を使用します。

※個人が特定できる情報や、患者 ID 番号は研究には利用しません。研究データ上にも残りませんので、本研究から個人情報が流出することはありません。また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が漏出することはありませんので、山形県コホート研究参加者および高島コホート研究参加者に危険や不利益が生じることはありません。

③ 誰が使用するか（研究実施施設及び責任者（利用する者の範囲、試料・情報の管理責任者））

研究実施機関の名称：山形大学医学部 看護学科

研究責任者： 櫻田 香

主任研究者：久下敦子 所属機関：看護学科／附属病院 職名：大学院生／看護師長

利用する者の範囲

氏名：佐々木春友	所属機関：基礎看護学講座	職名：大学院生
氏名：村上成美	所属機関：山形大学医学部附属病院	職名：看護師
氏名：小杉菜緒子	所属機関：山形大学医学部附属病院	職名：看護師
氏名：松田友美	所属機関：地域看護学講座	職名：教授
氏名：今田恒夫	所属機関：公衆衛生学・衛生学講座	職名：教授
氏名：上野義之	所属機関：第二内科	職名：教授
氏名：牧野直彦	所属機関：保健管理センター	職名：教授
氏名：宇野智咲	所属機関：看護学科	職名：助教
氏名：田中夕貴	所属機関：看護学科	職名：学生
氏名：曾田奈緒	所属機関：看護学科	職名：大学院生

④ 研究への利用をやめてほしい場合

研究に参加された方においては、得られた情報の研究への利用をいつでも停止することができます。研究に不参加となった場合も、データ利用を拒否された方に不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

ただし、データは匿名化された上で解析されるため、既に解析されたデータは個人を特定することが不可能になります。その場合は研究利用の停止を求めてもデータの削除が不可

能になります。

⑤ 問い合わせ先

研究利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

山形大学医学部 看護学科

〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2

連絡先：TEL 023-628-5433 Fax 023-628-5433

担当者：櫻田 香